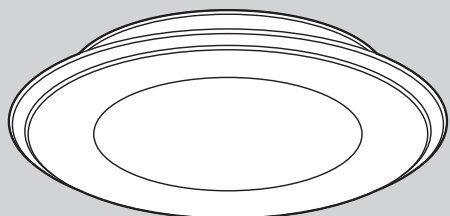


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



住宅用照明器具 (シーリングライト)

LINK STYLE LED

品番 LGBX1109
LGBX3109

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

・ご使用にあたってはスマートフォン・タブレットが必要です。また壁スイッチも必要です。

専用アプリケーション「あかりモ」の詳しい操作方法是、弊社のホームページ (<https://sumai.panasonic.jp/lighting/home/linkstyle/app/>) または、QRコードからサイトにアクセスして「アプリ操作ガイド」をご確認ください。



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

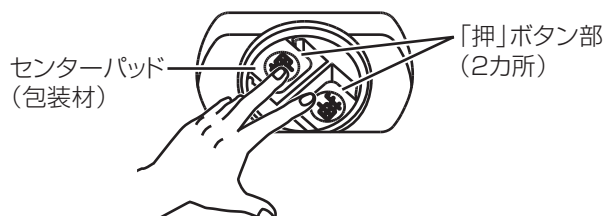
施工前に必ず器具を底板(包装材)から取り外してください。

器具を底板から取り外す方法

①器具のカバーを外す

☞ 6ページ「カバーの外しかた」参照

②器具中心部のセンターパッド(包装材)の「押」ボタン部(2カ所)を押しながら本体を持ち上げる



もくじ

安全上のご注意	2
ご使用上に関するお知らせ	3
各部のなまえと付属部品	4
取り付け前の注意事項	4
照明器具を取り付ける	5
照明器具を取り外す	7
各部のはたらき	7
・受信器(本体)	7
・照明器具の電波受信について	7
あかりをつける	8
・ご使用前の準備	8
・あかりを切り替える	10
・調光、調色の変更範囲	11
・点灯状態を変更する	11
・壁スイッチで照明器具を操作する	12
・スマートフォン・タブレットでグループ設定する	12
故障かな?と思ったら	13
お手入れについて	14
仕様	14
保証とアフターサービス	15

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



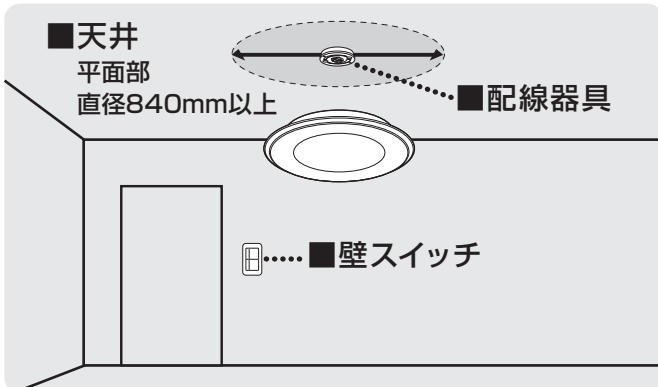
してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■天井



必ず守る

- 必ず上図のような平面部の直径が840 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

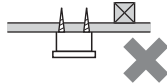
- 凹凸のある場所に取り付けけない

落下によるけがのおそれがあります。



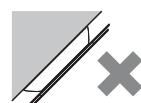
- 補強のない場所 (ベニヤ板や石こうボードなど) に取り付けけない

落下によるけがのおそれがあります。



- 傾斜した場所に取り付けけない

火災、落下によるけがのおそれがあります。



◎この器具は水平天井面取り付け専用です。



禁止



禁止

■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には取り付けない

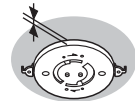
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



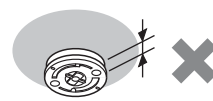
- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けけない

落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの



ローゼット10mm未満
斜めに取り付けられたもの



引掛シーリング19mm未満
シーリングハンガー
が取り付けられたもの



ケースウェイに
取り付けられたもの



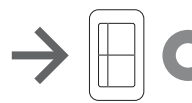
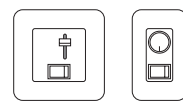
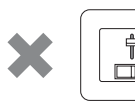
電源端子露出タイプ
電源端子



■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎販売店、工事に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)



必ず守る

■その他



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以内で本器を使用しない
本器からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

- 病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



禁止



必ず守る

- 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

- アダプタは確実に取り付け

落下してけがのおそれがあります。

- 本体は確実に取り付け

破損して感電のおそれがあります。

- 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける

破損して感電のおそれがあります。



⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書 内在中) に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない。やけどの原因となることがあります。

- ◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。火災、感電の原因となることがあります。

- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。

- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない。目の痛みの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・初期設定を行うとき、壁スイッチが必要です。
 - ・スマートフォン・タブレットに接続されていない場合に点灯消灯ができます。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- LEDの配置の関係上、一部光らないレンズがあります。
- キレイコートは経年劣化により、効果が多少減少します。(使用環境により程度は異なります)
- ☎ お手入れについては、14ページ「お手入れについて」参照

レンズの●部分は、光りません。
(下図はレンズの1/3を表しています)

LGBX1109

レンズ

LGBX3109

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

【電波について】

- 本器の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、電波の発射を停止してください。

2.4FH1

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH : FH-S変調方式です。

1 : 電波干渉距離は10mです。

———— : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

アダプタ (1個)

受信器
(Bluetooth® ユニット)

パネル
(裏面キレイコート仕様)
キレイコートについては、
14ページ
「お手入れについて」参照

コネクタ

カバー

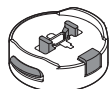
説明書

取扱説明書
かんたんガイド

本体取り付け用
付属部品

アダプタ (1個)

補修品番
NZ2717M



配線器具
丸型フル引掛シーリング
(1個)



引掛シーリング用
木ネジ(2本)



●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください。

LINK STYLE LED(Bluetooth® 通信)専用リモコン (別売)

品番: HK9850 (別売)

◎シーン切替と消灯のみの操作ができる、LINK STYLE LED(Bluetooth® 通信)専用リモコン (別売) があります。
詳細はLED照明器具のカatalogまたは、商品図面を確認してください。

配線器具

本体

◎器具本体裏面に
4カ所ついている
黒スポンジは取ら
ないでください。
(本体回転防止のため必要です)

黒スポンジ

常夜灯

LED

取り付け前の注意事項

保護シートは、器具を天井に取り付けてからはがしてください。

・パネルは指紋などが付着しやすいため、器具を天井に取り付けてから保護シートをはがしてください。◎パネルに直接触れないでください。

保護シート

パネル

断面図

保護シート

パネル

◎パネルの両面に保護シートを
貼り付けています



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。☞ 3ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎ローゼットへの取り付けで取付金具(ハンガー)部に既設器具などのネジが付いている場合は取り外してください。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

◎工事には資格が必要です。

天井からの出しろが 22 mm の配線器具

丸型フル引掛
シーリング

WG5005 WG5015

フル引掛
ローゼット

WG6005

丸型引掛
シーリング

WG4000 WG4420
WG4425 WG1500

角型引掛
シーリング

WG1000

天井からの出しろが 11 mm の配線器具

引掛埋込ローゼット

WG6000 WG6420 WG6130

引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)

WG6001WK

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

確認

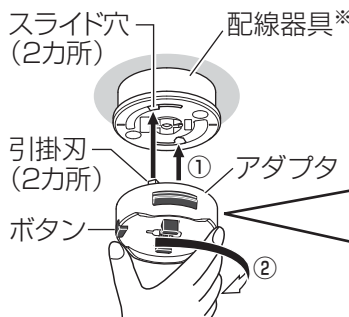
ボタンを押さずに左に回して
外れないことを確認する



警告

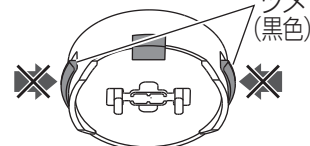


アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



※: 代表例を表示しています

× アダプタのツメ(黒色)
を押さえないこと



アダプタのツメを押さえた状態
では取り付けできません

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

①本体中心にセンターパッドが 取り付いていないか確認する

→取り付いている場合は、取り外す

☞ 表紙「器具を底板から取り外す方法」参照

②アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

◎配線器具により本体の取付位置が異なります。

右記を参考に押し上げてください。

◎本体を水平にし、均等に押し上げてください。

◎器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。

本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→取り付けできない場合は、

(1) アダプタを外す

☞ 7ページ「照明器具を取り外す」手順 3 参照

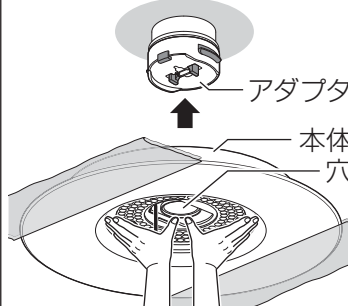
(2) 再度、手順 2 を行う



警告



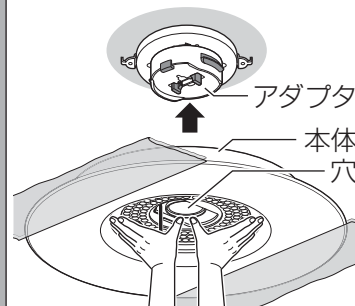
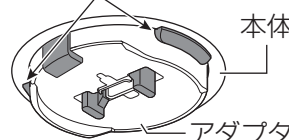
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

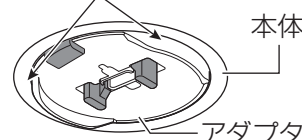
アダプタのツメ(黒色)が
両方見える



カチッと1度、音が
するまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

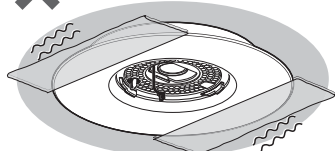
アダプタのツメ(黒色)が
両方見えない



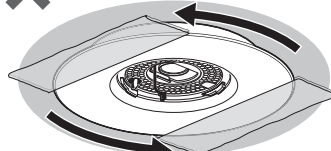
4 本体が正しく取り付けられているか確認する

本体がグラグラ
していないか、
簡単に回転しないか
確認する

× 本体がグラグラする



× 本体が簡単に回転する



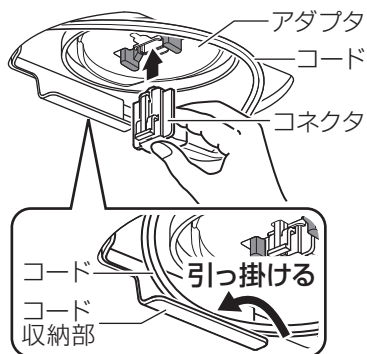
上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。

(次ページにつづく)

5 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタをアダプタに
確実に差し込む

→カバーにコードの影が
映りこむ場合は、
コードをコード収納部
に引っ掛ける

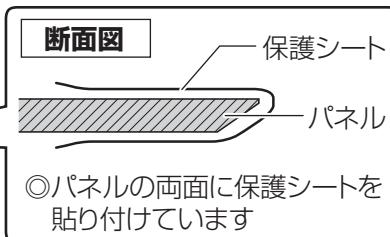
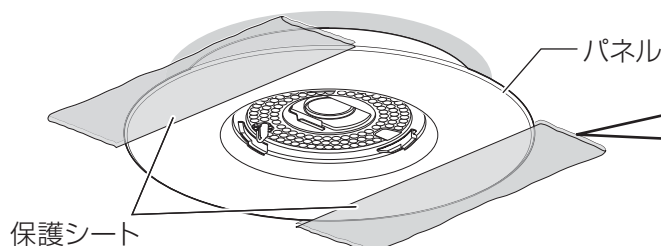


確認

- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順③に戻る。
- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して(☞次ページ「照明器具を取り外す」手順①参照)本体を押し上げる(☞前ページ手順③参照)

6 パネルの保護シートを全部はがす

ゆっくりとていねいに、保護シートを全部はがす



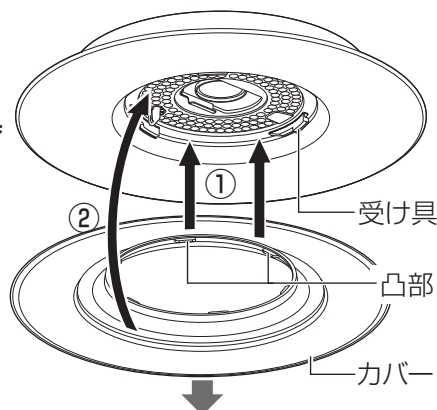
7 カバーを取り付ける

① カバーの凸部2カ所を
本体の受け具と受け具
の間に合わせる

② カバーを持ち上げる

③ カバーを回転が
止まるまで右に回す
(回転角度は、最大で約50度)

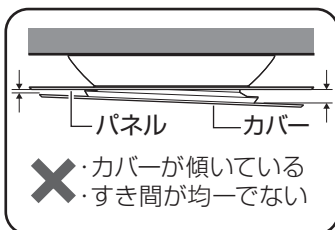
④ カバーが右に回転
しないことを確認する



確認

- カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す ☞ 次ページ「照明器具を取り外す」手順①参照
(2) 本体を押し上げる ☞ 前ページ 手順③参照
(3) コネクタを差し込む ☞ 上記 手順⑤参照
(4) 再度、手順⑦を行う

- カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを左に回して外し、再度、手順⑦を行う



警告



本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

注意

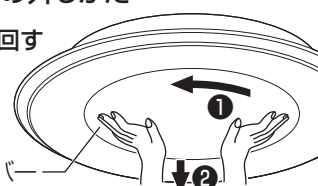


カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

① カバーを左に約20度回す

② カバーを外す



確認

カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、
パネルを押さえカバーのみを上を押しながら左に回して外し、本体を正しく取り付ける
☞ 左記 確認 手順(1)～(3)参照



照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

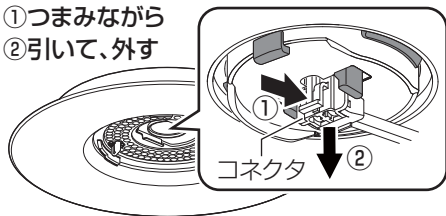
1

①カバーを外す

☞ 6ページ「照明器具を取り付ける」
手順 7 「カバーの外しかた」参照

②コネクタを外す

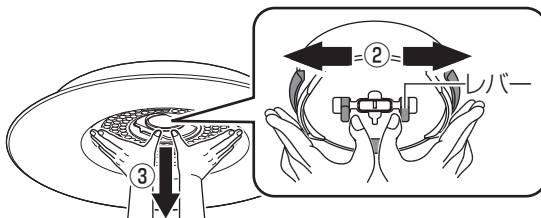
- ①つまみながら
- ②引いて、外す



2

本体を外す

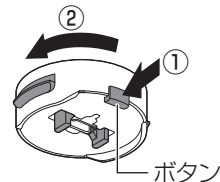
- ①本体が落ちないようにしっかりと支え
- ②レバーを矢印の方向(左右)に広げたまま
- ③本体をゆっくりと下げて、外す



3

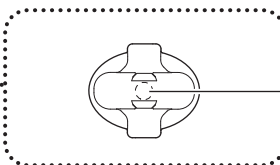
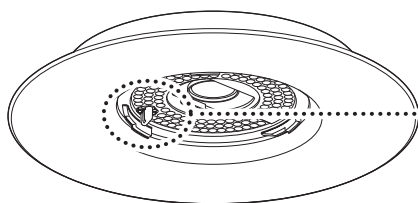
アダプタを外す

- ①ボタンを押しながら
- ②左に回す



各部のはたらき

受信器 (本体)



受信器 (Bluetooth® ユニット)

スマートフォン・タブレットからの信号を受けます。
さわったり、傷つけたりしないでください。

照明器具の電波受信について

- スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器を机の上に置いた状態でも操作できます。
- 電波到達距離は、障害物のない水平見通し空間で約10mです。障害物や設置環境によっては電波到達距離が短くなったり、電波が弱くなったりします。

周辺機器のノイズや障害物の影響を受けて正常に動作しないことがあります。

- 照明器具やスマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器の近くで
 - 1) 携帯電話やPHS電話、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器をご使用のとき
 - 2) 直流電圧で駆動するベルやモーターをご使用のとき
 - 3) 電子レンジなどの家電製品、パソコンやOA機器、無線LAN対応機器、その他2.4GHz帯の電波を使用する機器をご使用のとき
 - 4) マイクロ波治療器をご使用のとき
- スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と照明器具の間を間仕切りなどで遮っているとき
- スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と照明器具の周りを家具や金属製のキャビネットなどで囲んでいるとき
- テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域、または近くに各種無線局のある場所でご使用のとき

あかりをつける

- ・この製品はBluetooth® 機能を搭載した器具です。
- ・スマートフォン・タブレットで操作することができます。
- ・1台の照明器具に対して、複数のスマートフォン・タブレットを同時に使用できません。
使用するスマートフォン・タブレットが2台の場合は、2台以上の照明器具があれば同時に使用できます。
(2台以上で使用する場合、一部の操作、タイミングにより通信エラーが生じ、操作ができない場合があります。
その場合は、アプリの再起動を行ってください。)

- ・あかりを操作するスマートフォン・タブレットでワイヤレス音楽再生機器などの他のBluetooth® 機器と接続していると、アプリを起動および操作ができない場合があります。その場合は他のBluetooth® 機器との接続を解除してからアプリを起動および操作してください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

ご使用前の準備

1. スマートフォン・タブレットの設定

- 1) スマートフォン・タブレット(対象:iOS、Android™)の設定方法にしたがい、Bluetooth®をオンにしてください。
- 2) スマートフォン・タブレット(対象:Android™)の設定方法にしたがい、位置情報、GPS、現在地などへのアクセスを許可してください。

2. 専用アプリケーションのダウンロード



スマートフォン・タブレットからダウンロードサイトにアクセスし、専用アプリケーション [パナソニック「あかりモ」アプリ] (無料) をダウンロードします。
◎必ず最新Ver.をダウンロードしてから以下の手順を進めてください。

ダウンロードサイト

iOSの方
App Storeから

Android™の方
Google Play™から



パナソニック あかりモ

検索

適応OS

iOS : 10.0 以上
Android™ : 5.0 以上

適応Bluetooth®

Bluetooth® : 4.0 以上
(Bluetooth low energy)

適応スマートフォン

弊社のホームページにあります「あかりモ適合機種一覧」をご参照ください。(https://sumai.panasonic.jp/lighting/home/linkstyle/app/pdf/taikoukisyu.pdf)



- ・OS、Bluetooth®が適応外の場合、アプリケーションのダウンロードができません。
- ・ダウンロードには別途通信料が発生します。
- ・機種によって、文字ずれや画面ずれが発生したり、通信が安定しない場合があります。必ず適応機種を弊社ホームページで確認してください。
- ・iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。IOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- ・Android™、Google Play™は、Google LLCの登録商標です。

3. ユーザーIDと暗証番号の準備

- ・スマートフォン・タブレットから専用アプリケーション[パナソニック「あかりモ」アプリ](無料)を初めて使用する場合、ご自身でユーザーIDと暗証番号を設定・登録する必要がありますので、あらかじめ準備をしておいてください。

- ・「ユーザーID」は、大文字、小文字を含む任意の半角英数字8文字以上18文字以下に設定
- ・「暗証番号」は、半角数字8桁に設定

[メモ] ◎忘れないようにメモしてご使用ください。

ユーザーID :

・大文字、小文字を含む任意の半角英数字8文字以上18文字以下

暗証番号 :

・半角数字8桁

4. 照明器具の電源を入れる

照明器具は、最大15台まで登録できます

登録したい照明器具の電源をONにしてください。

既に照明器具の電源をONにしている場合はいったんOFFにし、しばらくしてからONにしてください。



5. 初期設定

- 1) スマートフォン・タブレットから専用アプリケーション「パナソニック「あかりモ」アプリ（無料）」を起動します。
- 2) 「始める」をタップします。 **Android™ 6.0以降のみ位置情報へのアクセスを許可する**



- ・アプリダウンロード後の初回起動時のみ、この初期設定画面が現れます。
- ・登録したい照明器具の電源をONにした後、15分以内に以下の「スマートフォン・タブレットへの登録操作」が完了できない場合は、一度登録したい照明器具の電源をOFFにしてから再度ONしてください。

スマートフォン・タブレットへの登録操作

◎アプリの画面は予告なく変更になる場合があります。



準備した「ユーザーID」と「暗証番号」を入力し、「次へ」をタップします。

・設定したユーザーIDと暗証番号は、設定画面で確認できます。(アプリ操作ガイド「その他」参照)



登録したい器具に「✓」マークが表示されていることを確認し、「次へ」をタップします。

- ・登録したい器具がすべて現れない場合、器具の電源を一度OFFしてから再度ONしてください。複数台の器具が登録できない場合、再度「次へ」をタップしてください。
- ・器具の登録は後からでもできます。(アプリ操作ガイド「照明器具を登録する」参照)
- ・器具を1台も選択せずに「次へ」をタップした場合、シーン切替などの画面が正しく表示されません。



「使い始めましょう」をタップします。



シーン切替画面に切り替わり、あかりの操作が可能になります。

・通信できていない器具は表示されません。

詳しい操作方法は、弊社のホームページ (<https://sumai.panasonic.jp/lighting/home/linkstyle/app/>) または、QRコードからサイトにアクセスして「アプリ操作ガイド」をご確認ください。



注意

ご家族で使用する場合など、2台目以降のスマートフォン・タブレットの設定についても、1台目スマートフォン・タブレットと同様に「ご使用前の準備」を行ってください。ただし、1台目で設定した「ユーザーID」と「暗証番号」を入力してください。

あかりをつける

あかりを切り替える

照明器具の電源がONの状態のときにスマートフォンアプリおよび、Bluetooth®専用リモコン（品番:HK9850・別売）で操作することができます。

スマートフォンアプリ（シーン切替画面）の「シーン切替ボタン」により、あかりの切り替えができます。

各モードの点灯イメージ図



〈シーンボタンの初期設定値〉

シーン名称	点灯状態	光の色	明るさ
① 勉強	全灯	6200K	100%
② くつろぎ	パネル光	2700K	50%
③ シアター	パネル光	2700K	30%
④ だんらん	ふだん	2700K	100%
⑤ 常夜灯	常夜灯	アンバー	100%

Bluetooth®専用リモコンでは、スマートフォンアプリで登録されているシーン①～⑤の点灯状態に切り替えることができます。「個別調整」「タイマー」「設定」の操作はできません。

スマートフォン



シーンボタン

スマートフォンアプリで登録されているシーン1～5の点灯状態に切り替えます。

消灯ボタン

シーン切替ボタン

個別調整ボタン

照明器具1台ごとに点灯状態確認、点灯、消灯、調光、調色操作ができます。



タイマーボタン

シーンタイマー、おまかせタイマー設定で指定した時刻に自動で点灯できます。



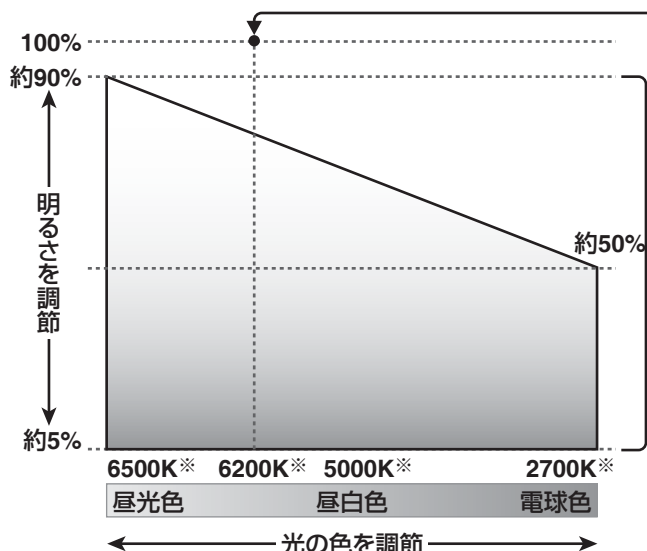
設定ボタン

その他の設定を変更できます。



「個別調整ボタン」「タイマーボタン」「設定ボタン」の詳細については、アプリ操作ガイドを参照ください。

調光、調色の変更範囲



※：K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

全灯

文字くっきり光

スマートフォンアプリの「全灯ボタン」をタップすると、昼光色6200K※、明るさ100%(文字くっきり光)で点灯

【文字くっきり光とは】

文字が見やすい「色温度(6200K)」と「明るさ」で、小さな文字もくっきり見えるあかりです。読書や勉強などにおすすめです。

ふだん

ふだんのあかり

スマートフォンアプリの「ふだんボタン」をタップすると、左図の範囲内であらかじめ設定した明るさ、光の色で点灯(初期設定:昼白色5000K※、明るさ約85%)

点灯状態を変更する

スマートフォンアプリの「個別調整」で、器具の点灯状態を変更できます。

- 1 スマートフォンアプリの「個別調整ボタン」をタップして点灯状態を変更したい器具の「調光/調色ボタン」をタップする

■ ふだんのあかりの場合

- 2 「ふだんボタン」をタップする

- 3 調光調色マップをタップまたはスライドして明るさ、光の色を調整する → 記憶

メモ

再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさ、光の色で点灯します。

■ 全灯の場合

- 2 「全灯ボタン」をタップする

メモ

- 明るさを変更しても記憶しません。
- 調色はできません。

■ パネル光、センター光、常夜灯の場合

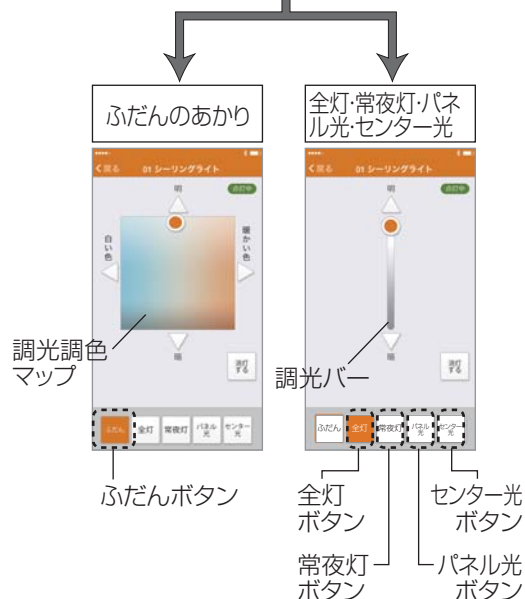
- 2 「パネル光ボタン」「センター光ボタン」「常夜灯ボタン」の変更したいあかりのボタンをタップする

- 3 調光バーをタップまたはスライドして明るさを調整する → 記憶

メモ

- 常夜灯は6段階の明るさを調整できます。(微調整はできません)
- 再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 調色はできません。

スマートフォン



あかりをつける

壁スイッチで照明器具を操作する

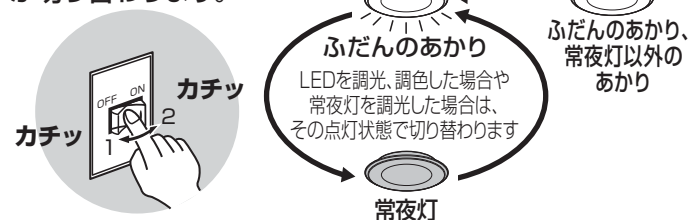
点灯・消灯する



- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次に壁スイッチをONしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

スマートフォン・タブレットでグループ設定する

スマートフォンアプリで照明器具のグループ設定をすることで、照明器具を各グループごとに操作できます。
◎同じ照明器具を複数のグループに設定できません。

設定方法

スマートフォン・タブレットから専用アプリケーション「パナソニック「あかりモ」アプリ（無料）」を起動します。

1	2	3	4
 「設定」をタップして「照明器具のグループ分け」をタップする	 照明器具を登録したいグループ番号をタップする	 選択したグループ番号に登録したい照明器具をタップする →「決定」をタップして設定完了 ※選択したグループ番号に登録中の照明器具には「✓」マークを表示しています。 ※通信できない照明器具は、グレーで表示します。 ※通信できない照明器具は、タップしても「✓」マークは表示されません。	 シーン切替で画面をスクロールして、各グループごとにシーンを切り替える

詳しい操作方法は、弊社のホームページ (<https://sumai.panasonic.jp/lighting/home/linkstyle/app/>) または、QRコードからサイトにアクセスして「アプリ操作ガイド」をご確認ください。



故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本体が取り付けかない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し……………  7ページ ③ ②再度、アダプタを取り付ける………  5ページ ②	
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し……………  7ページ ① ②本体を押し上げてから……………  5ページ ③ ③コネクタを再度、差し込む……………  6ページ ⑤	
	壁スイッチがOFFになっているまたは、スマートフォン・タブレットで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	12ページ  「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		スマートフォン・タブレットもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	10～12ページ  「あかりをつける」
スマートフォン・タブレットで操作できない	スマートフォンアプリの初期設定ができていない	スマートフォンアプリの初期設定をする	9ページ  「5.初期設定」
	照明器具の登録を解除した	スマートフォンアプリから「照明器具の登録」の設定を行う	 アプリ操作ガイド 「照明器具/リモコンを登録する」
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする	12ページ  「壁スイッチで照明器具を操作する」
	スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器・照明器具の周りが金属製のもので囲われている	金属製のものを取り除く	
	スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と照明器具の間に障害物がある	障害物を取り除く	
	スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と照明器具の距離が離れている	照明器具との距離を短くする	 7ページ 「照明器具の電波受信について」
	強い電波を発生する機器が近くにある	強い電波を発生する機器を遠ざける	
点灯状態が勝手に切り替わる	スマートフォンアプリのタイマー機能がONになっている	スマートフォンアプリのタイマー機能をOFFにする	 アプリ操作ガイド 「タイマーでシーンを切り替える」
	スマートフォン・タブレット操作時にちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。
「ピピッ ピピッ ピピッ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください	

上記の処置を行っても現象が続く場合	照明器具	電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
	スマートフォン・タブレット	アプリの再起動およびアップデート、スマートフォン・タブレットの再起動を行う

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

お手入れについて

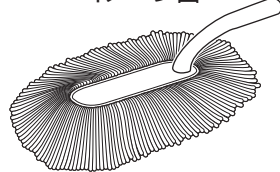
安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。

パネルのお手入れ (パネルの裏面: キレイコート仕様)

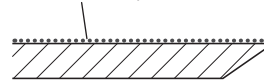
- 汚れは、必ずハンディモップなどで先にほこりを取ってから、やわらかい布を**水**に浸し、よく絞って**湿り気のある状態**で軽くふき取ってください。

ハンディモップ
イメージ図



パネルの断面図

キレイコート(パネルの裏面)



パネル

【キレイコートとは】

水や油をはじく効果のあるコーティングで従来素材よりホコリや油污れが付きにくく、付着した場合でも、容易にふき取れます。(注1)

(注1)すべての汚れに対応できるものではありません。染料やタバコのヤニなどには効果がありません。

他の部位のお手入れ

- 汚れは、やわらかい布を**石けん水**に浸してよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
- パネルは、からぶきしたり、強く何度もこすらないでください。発光ムラの原因となります。
- パネルの裏面にはこりがある状態でふき取るとプリズムが目詰まりする原因となります。
- キレイコート部(パネルの裏面)を水拭きの際は、洗剤などを使用しないでください。コーティングはがれの原因となります。

仕様



保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
☐ LGBX1109	AC100 V	50/60Hz共用	38.3W	リモコンOFF時 (待機時状態)	1W以下 0.40A
☐ LGBX3109			49.1W	常夜灯のみ	約1W 0.50A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () ー
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用
- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	14ページ「仕様」をご参照ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

